

第2回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会 議事録

日時：2010年1月23日(土) 18:10~18:40

場所：大阪科学技術センター 403号室

出席者(順不同・敬称略)：

[本会雑誌編集委員会 編集委員] 皆上大吾(日本獣医生命科学大学)、高橋朋子(日本大学)、難波裕之(難波動物病理検査ラボ)、圓尾拓也(麻布大学附属動物病院)

委任者：なし

議長：[本会雑誌編集委員会編集委員長] 藤田道郎(日本獣医生命科学大学)

書記：[本会雑誌編集・制作担当] 吉田由紀子(CACompany 委託)

下記のとおりご報告申し上げます。

[審議事項]

1、(1)から(11)が提案、承認された。

(1) 石田卓夫先生(赤坂動物病院)に英文査読委員をご担当いただく。

英文の校閲および査読を依頼し、石田先生にはすでに快諾をしていただき、創刊号は石田先生の英文校閲および査読済み。

(2) 2号目からは紙冊子はなし。全て電子ジャーナル化する。写真データは4C可能になる。

(3) 投稿規程の修正。投稿規程6内の「本文：pdfファイルで作成する。マイクロソフト社のWordの文書が望ましい・・・」から「pdfで作成する。」を削除。

PDFでは査読委員が修正できないため、Wordに統一する。

(4) 査読シートはなしで、査読を進める。ただし査読者には「掲載可」「不可」「修正後採用」について明記してもらう。

(5) 各編集委員より推薦をいただき受諾をいただいた方(8月に名簿作成・各編集委員へメール送信済み)以外にも、新たに認定医1種取得者にも「短報」に限り、査読を引き受けていただくようにご依頼する。

「原著」論文は獣医学博士を有するものあるいはそれと同等の学識を有すると認められたものに限る。

(6) 査読システムの(ア)(イ)(ウ)の変更。

(ア) 石田卓夫英文査読委員による英文査読が加わる。

(イ) メイン査読者は編集委員長が任命。査読者(2名)は、メイン査読者が推薦し、編集委員長の承認を経て決定する。

(ウ) 査読者により査読は1回限り。あとはメイン査読者と論文投稿サイドとのやりとりになる。

(エ) 基本的に査読のやりとり・制作・編集(吉田)を経由しての進行となる。

(7) ホームページ・電子ジャーナルに関する新予算を組む。

例：英文ホームページ作成。論文投稿についての誓約書のダウンロード。J-Stage(電子ジャーナル)登録制作事務作業、電子ジャーナルへのデータアップ等

(8) 依頼原稿の原稿料の検討と決定および引用・転載について。

依頼原稿であっても執筆者が他論文などからの引用・転載許可の申請手続き、および、発生する経費については、原則として執筆者自身の負担とする。しかし臨機応変な対応が求められるケースではその限りではない。

(9) 依頼原稿は締切を設定した進行。投稿原稿(「原著」「短報」)の進行とは異なるものとする。

(10) 本会雑誌が安定して年4回発行できるまでは、可能な限り掲載前提の査読が望まれる。また、論文投稿促進のため、認定医の継続教育システムへの提案を認定委員会へ検討を依頼。例：認定医取得者は一定期間内の投稿の義務づけ等

2、(1)から(3)が報告された

(1) 本会雑誌2号目以降の掲載予定として、投稿原稿は「原著」2本「短報」2本が、依頼原稿は「総説」(松島雅人先生・東京慈恵会医科大学)「技術講座」(難波裕之先生・難波動物病理検査ラボ、三井一鬼先生・アイデックスラボラトリーズ)が進行中。

(2) 電子ジャーナルについて

年4回登載予定。現在、創刊号は本年2月中にデータアップを目指し作業進行中。

データアップされ次第、本会ホームページ等にてアナウンス。また創刊号紙冊子は本文モノクロ展開だが、電子ジャーナルではカラー画像はカラーのまま登載できるよう作業進行。

(3) 本会雑誌創刊号を16大学図書館へ贈呈。後日、事務局より発送。

[次回編集委員会 開催予定]

日時：2010年夏

場所：未定

出席者(予定・順不同・敬称略)：

藤田道郎(編集委員長)、浅野和之(編集委員)、皆上大吾(編集委員)、廉澤 剛(編集委員)、下田哲也(編集委員)、高橋朋子(編集委員)、難波裕之(編集委員)、圓尾拓也(編集委員)、山上哲史(編集委員)、吉田由紀子(CACompany 委託：編集・制作担当)

審議事項：未定

以上。

(文責者：藤田道郎)